

# 金歯にダイヤ埋め込んで、君もきょうからラップスター！

【台東区・上野】グリルズジュエルズ

Rob a jewelry store  
and tell 'em make me a grill  
uh, uh  
Had a whole top diamonds  
and da bottom rows gold  
Yo we bout to start an epidemic wit dis one  
Ya'll know what dis is so so def

いまアメリカでいちばん人気あるラッパーのひとりであるネリーは、『GRILLZ』というヒット曲をこう歌い出している。ここで言う「グリル」とは、料理の名前ではなくて、歯にかぶせる「装飾用金歯・宝飾歯」のこと。1980年代初頭にニューヨーク・ブルックリンの「金歯屋」エディ・プレインによって発明されたと言われ（myspaceの自己紹介ページには、興味深い画像や動画が満載！

<http://www.myspace.com/eddiesgoldteeth>）、パブリックエネミーのフレイヴァ・フレイヴなど、東海岸のラッパーたちの熱い支持を得て、全米に広まった。

オーバーサイズのスポーツウェア、野球帽、スニーカーやティンバーランド・ブーツ、「ブリンブリン」と呼ばれる極大ジュエリーといったヒップホップ・ファッションのうちでも、グリルは最強のアピール度を誇るアイテムである。自然の歯と見分けのつかない、ナチュラルな色の差し歯が審美歯科では一般的になっているいまの世の中で、ふた昔ぐらい前のイメージしかない“金歯”という危険なブツに、さらに宝石まで埋め込んだりして、隠すのではなく見せつけるための差し歯を作ってしまう——それはいかにもヒップホップらしい、反逆精神にあふれたスタイルと言えよう。

ほんの少し前までは寂れた都心のエアポケットのようだったのが、JR東日本が高架下を『2k540 AKI-OKA ARTISAN』なるデザインショップやカフェのアーケードに模様替えして、急にオシャレな女子っぽいエリアになりつつある（嘆息）上野御徒町。その2k540のお向かいにありながら、「うちの店は影響ありませんから！」と即答してくれる気合いがうれしい『GRILLZ JEWELZ』は、ヒップホップのグリルをオーダーメイドで製造販売する、たぶん日本で唯一の専門ショップだ。

オーナー&デザイナーである秋山哲哉さんが、世田谷の自宅兼工房でグリルのインターネット販売を始めたのが6年半ほど前。御徒町に店を出してから、もう4年ほどになるが、いまだに競合店はひとつもないという——



たたずまいが全く異質なGRILLZ JEWELZ

もともと僕は宝飾の職人だったんです。ペンダントとかの、アクセサリーを加工する仕事で。その前は食品関係のサラリーマンをしてたんですが、ジュエリーが好きだったのでそっちがやりたくて、転職しました。

ヒップホップはもう、中学生のころからボビー・ブラウンとか聴いてて大好きだったので、宝飾の職人をやっていたときに、アメリ



秋山さんは、見事な金無垢のグリルを装着して迎えてくれた